

各位

未経験者の入職が増えた職場ほど介護の質が低下する結果に ～緊急介護職636名意識調査結果速報～

株式会社エス・エム・エス(本社所在地:東京都港区、代表取締役社長:諸藤周平、以下当社)は、介護現場における未経験者の就業状況に関して11月2日～17日の期間に介護職を対象としたアンケートを実施し、その結果、636名の回答を得ることができましたのでその結果の一部を公表いたします。
 ※その他のアンケート項目を含めた詳細結果につきましては、「かいこのホンネ Vol.4」として当社サイトにて公開しています。(URL:<http://www.bm-sms.co.jp/pr/>)

【調査結果】

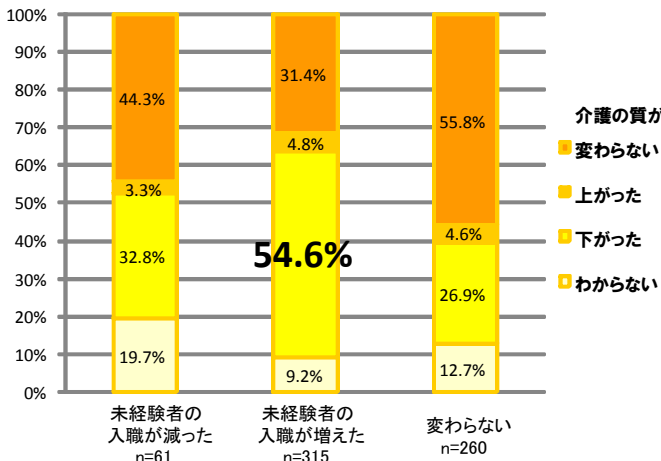
未経験者の入職が増えた職場において介護の質の低下が顕著

介護職の有資格者636名に、「自分の職場において未経験者の入職数はどう変化したか」という質問をしたところ、50%以上が、「増えた」と答えており、「減った」と答えた9.5%を大きく上回る結果となった。
 さらに、「介護の質はどのように変化したか」を尋ねたところ、未経験者の入職が「増えた」と答えた人の54.6%が介護の質が「下がった」と答えており、未経験者の入職の増加が介護の質の低下に影響を及ぼしていると言えそうだ。(図1)

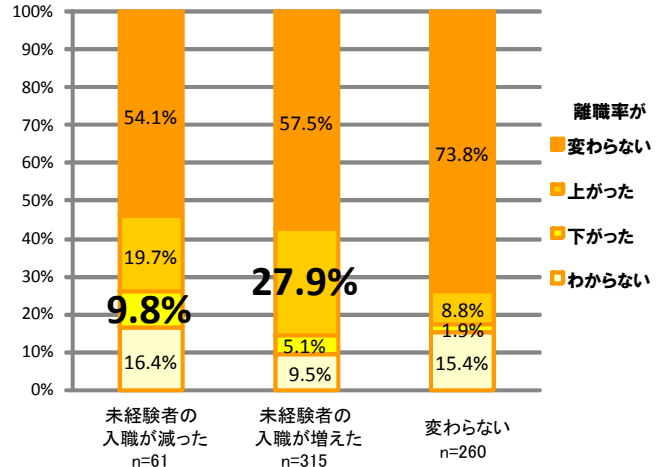
未経験者の入職の増減が職場の離職率に影響

同様に、「職場の離職状況はどのように変化したか」という質問をしたところ、未経験者の入職が「増えた」と答えた人の27.9%が「(離職率が)上がった」と答えた。また、その一方で未経験者の入職が「減った」と答えた人の9.8%が「(離職率が)下がった」と答えており、未経験者の入職が離職率にも影響を及ぼしていると言えそうだ。(図2)

【図1: 未経験者の入職の増減と介護の質の変化】



【図2: 未経験者の入職の増減と離職率の変化】



【調査概要】

■調査期間

2009年11月2日～11月17日

■対象

当社介護関連サイト会員

■調査方法

インターネットを使ったアンケート調査

■有効回答数

636名

■主な対象となる資格

 介護支援専門員(ケアマネジャー)、介護福祉士(ケアワーカー)、
 社会福祉士(ソーシャルワーカー)、訪問介護員(ホームヘルパー)

※ホームヘルパーの1級、2級、3級の区別は問わない